

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	演芸
----	------	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	C区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	3企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃ ぷろしーど・あーつ 株式会社 プロシード・アーツ	団体ウェブサイトURL	http://www.proceed-arts.co.jp/
代表者職・氏名	代表取締役 柿花 龍治		
制作団体所在地	〒 531-0071 大阪府大阪市北区中津6丁目5番3号	最寄り駅(バス停)	
電話番号	06-6456-0303		
ふりがな 公演団体名	ぼけつとよせ ポケット寄席	団体ウェブサイトURL	
代表者職・氏名	代表 柿花 惇史		
公演団体所在地	〒 544-0023 株式会社 蒼生舎 内 ポケット寄席事務局	最寄り駅(バス停)	JR天王寺
制作団体 設立年月	平成4年3月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 柿花 龍治	製作スタッフ10名 舞台スタッフ12名	
事務体制 (専任担当の有無)	専任の事務担当者を置く	本事業担当者名	柿花 龍治
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	大槻 哲

<p>制作団体沿革</p>	<p>株式会社プロシード・アーツと関西演芸協会所属の演芸家との上方文化応援チームが実現！ (誰かが機会を作らないと出会うことのない本物の舞台を目指し30年)</p> <p>プロシード・アーツは、小学校、中学校、子どもたちの為の古典芸能主体の学校公演において全国でトップクラスの公演数を誇る舞台芸術集団です。誰かが機会を作らないと出会うことのない本物の舞台を目指すことをモットーに活動しております。</p> <p>特に創立当初は、小中学生の為の上方落語鑑賞会と音楽鑑賞会の公演普及活動から始まり、その後先生方や教育関係者の要望に応える為日本の伝統芸能、狂言、能、江戸前寄席、東西寄席、邦楽、スクールコンサートなど、多方面にわたって公演しております。</p> <p>企画も各地域や各学校のニーズに応えるべくプランニングしております。 舞台作りにおいても本物の寄席舞台を学校体育館に再現する為に、東西の寄席小屋をリサーチの上、使用マイクも演芸専門のマイク(SONY C-38B)、スピーカー2対(4本)を使用し、プロの音響専門のオペレーターにより寄席専用にチューニングします。古き良き時代の寄席臨場感を再現いたします。</p>			
<p>学校等における公演実績</p>	<p>2008年文化庁「本物の舞台芸術体験事業」に採択 2010年文化庁「次代を担う子どもの舞台芸術体験事業」に採択 2011年文化庁「次代を担う子どもの舞台芸術体験事業」の舞台進行、製作参加 2012年文化庁「次代を担う子どもの舞台芸術体験事業」の舞台進行、製作参加 2013年文化庁「次代を担う子どもの舞台芸術体験事業」の舞台進行、製作参加 2014年文化庁「文化芸術による子供の育成事業」の舞台進行、製作参加 2015年文化庁「文化芸術による子供の育成事業」の舞台進行、製作参加 2016年文化庁「文化芸術による子供の育成事業」の舞台進行、製作参加 2017年文化庁「文化芸術による子供の育成事業」の舞台進行、製作参加 2018年文化庁「文化芸術による子供の育成事業」の舞台進行、製作参加 2020年文化庁「文化芸術による子供育成総合事業」の舞台進行、製作参加 2021年文化庁「文化芸術による子供育成総合事業」に採択 2022年文化庁「文化芸術による子供育成推進事業」に採択 《学校公演実績》 古典芸能を柱に創業約30年6200校の公演実績。 平成21年312校、平成22年336校、平成23年217校、平成24年320校 平成25年311校、平成26年318校、平成27年398校、平成28年322校 平成29年305校 平成30年302校 令和 元年257校 平成29年大阪市北区学校教育活動支援文化芸術体験事業 採択 平成30年大阪市北区学校教育活動支援文化芸術体験事業 サポートとして参加</p>			
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>京都市立 鳴滝養護支援学級 大阪府立 堺 養護学級 中央図書館 わんぱく文庫 大阪市北区文化芸術による子供の育成事業 堀川小学校 聴覚支援学級 大阪府立平野支援学校</p>			
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>		
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://youtu.be/t-516uavKig</p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>		
		<p>PW:</p>		

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 ポケット寄席】

対象	小学生(低学年)	○		
小学生(中学年)		○		
小学生(高学年)		○		
中学生		○		
企画名	ポケット寄席			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>・一番太鼓でお出迎えと上方の寄席囃子でお出迎え (子どもたちによる寄席の開場をつける一番太鼓の演奏)</p> <p>いよいよ開演です！</p> <p>・寄席お囃子入門 (落語家のテーマソング 出囃子 いろいろの出囃子を聞いてみましょう) ・寄席入門教室 (扇子・手ぬぐいの使い方や見たての表現などをお話します)</p> <p>・南京玉すだれ (寄席の色物 落語家による玉すだれの実演)</p> <p>・創作玉すだれ (児童・生徒のみなさんによる創作玉すだれ) ・古典落語 (動物園 等) ・中入り (休憩) ・大喜利 ～アイウエオ作文～ (5文字の頭文字から言葉遊びを体験します) ・寄席の色物 (数ある寄席の色物より太神楽曲芸などを) ・古典落語 (平林 等)</p> <p style="text-align: right;">公演時間 80 分</p>			
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況	
演目概要	<p>①落語入門講座 落語家必携 扇子・手ぬぐいの使い方や見立ての表現など 落語の鑑賞方法をお話します。</p> <p>②南京玉すだれ 何の変哲もない玉すだれが様々な形に千変万化します。落語家による実演をご覧ください。</p> <p>③玉すだれ体験 昔ながらの玉すだれを使って『新作玉すだれ』に挑戦して下さい。皆さんの個性が光ります。</p> <p>④上方古典落語 先ずは一席。一人の落語家が複数の登場人物を演じわけ、さまざまな情景を表現する落語の世界へ。</p> <p>⑤大喜利～アイウエオ作文～ 5文字の頭文字を使って短文を創りましょう。学校や地域に因んだ5文字から創作します。</p> <p>⑥寄席の色物 太神楽曲芸やマジックなど寄席の色物が登場します。お楽しみに</p> <p>⑥古典落語 トリは落語が締めくくります。数ある古典落語より一席、お聞き下さい。</p> <p>※演目例;動物園 動物園と言えば、何を思い浮かべますか。このお祈りにはどんな動物が登場するのでしょうか。 平林 まだ字の読めない小さな丁稚さんが大切な手紙を届ける奮闘記です。(別添有り)</p>			
演目選択理由	<p>◆ 難しい説明や指導よりも、実際に体験してみる出会いのステージ</p> <p>～誰かが機会を作らないと出会うことのない本物の舞台を紹介～</p> <p>TVなどでは、関西弁を聞く機会は多くても、上質で品格ある上方文化に出会う機会はあまり多くありません。関西に馴染みの少ない地域で初めて上方演芸に出会う子供たちの為に、『落語』と『南京たますだれ』『大喜利～アイウエオ作文～』の実演を提案します。実際に見て、触れて、体験してみる出会いのステージは子供たちの興味や好奇心を引き出し、創作意欲を掻き立てることでしょう。上方落語協会・関西演芸協会所属の出演者によるコンパクトですが、本物の上方演芸をご覧ください。全国でトップクラスの実績と経験を誇る舞台芸術創造団体ならではの企画をプロシード・アーツが提案いたします。</p>			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>①寄席の名前を考えよう 学校に寄席を呼ぼう！というテーマで、「○○○寄席」と言うように寄席の名前を考えて下さい。</p> <p>②一番太鼓 寄席の開演を告げる一番太鼓を子ども達にカー杯叩いて頂きます。</p> <p>③お茶子修行 高座の座布団の返し、名びら(めくり)の返し、見台 膝隠しの上げ下げなどお茶子として参加。</p> <p>④創作南京玉すだれ 何の変哲もない玉すだれが千変万化する特性を生かして オリジナルの形を作って下さい。</p> <p>⑤大喜利～アイウエオ作文～ 学校や地域に因んだ5文字の頭文字を使って、短文を作りましょう。一人一文字が担当です。</p>			
出演者	<p>①一番太鼓 :笑福亭智丸 → 桂 治 門 → 笑福亭 大智</p> <p>②寄席囃子紹介三味線:岡野 鏡 → はやしや都美礼 → はやしや律子 → はやしや絹代</p> <p>③落語教室 :笑福亭 生喬 →林家 染雀 → 桂 阿か枝 → 林家 菊丸</p> <p>④南京玉すだれ :笑福亭智丸 → 桂 治 門 → 笑福亭 大智</p> <p>⑤アイウエオ作文 :笑福亭 生喬 →林家 染雀 → 桂 阿か枝 → 林家 菊丸</p> <p>⑥色物 :豊来家 玉之助 →ピッキリ ツカサ → 松旭齋 天蝶 → キタノ大地</p> <p>⑦落 語 :笑福亭 生喬 →林家 染雀 → 桂 阿か枝 → 林家 菊丸</p> <p>二人の落語家と一人の演芸家、寄席三味線奏者が役割を分担しながら円滑に公演を進めてゆきます。別添えあり</p>			

本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 め	出演者: 4 名 スタッフ: 2 名		運搬	積載量: 2 t 車長: 6 m 台数: 1 台	
	合計: 6 名				
本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去
	9:30	10:00	13:30~15:00	10	15:30
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。午前公演希望の場合は前日仕込みの可能性が有ります。					
本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月
	10日	15日	10日	15日	10日
	11月	12月	1月	計	105日
	15日	15日	15日		
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				
児童・生徒の 参加可能人数	本公演		共演人数目安	5~50人	
			鑑賞人数目安	30~300人	



小さな会場でも寄席舞台が出来上がりました。



仕草で表現 何を食べてるのな



太神楽曲芸 傘と碇

共演風景 アイウエオ作文



公演に係るビジュアルイメージ (舞台の規模や演出やがわかる写真)



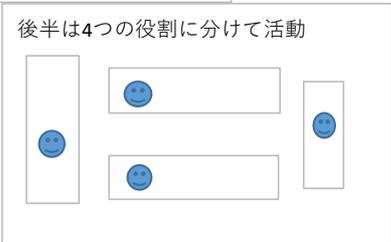
共演風景 一番太鼓でお出迎え



共演風景 創作南京玉すだれ

※採択決定後、採択団体へ図面等詳細の提出をお願いします。

【公演団体名 **ポケット寄席** 】

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	5～20名
<p>ワークショップ実施形態及び内容</p>	<p>【ゆかいな！ゆかいな！ポケット寄席 ワorkshop】</p> <p>①本公演で実演参加する児童・生徒のみ参加の場合 前半 40分：落語のお話。自分たちの寄席の名前を考えよう。 南京玉すだれ・一番太鼓。お茶子さんのデモンストレーションを実演。 後半 40分：実演者としてお稽古 ●一番太鼓 入場のタイミングで打つ一番太鼓を落語家が指導します。 ●お茶子さん 名札や座布団を返したり 見台の設置などお茶子さんの仕事をスタッフが指導します。 ●創作南京玉すだれ 何の変哲もない玉すだれを様々な形に見立てて表現しましょう。 ●大喜利～アイウエオ作文～ 学校や地域に因んだ5文字の言葉を使って作文を作りましょう。 オチのある作文。整った作文など言葉遊びが楽しいです。</p> <p>②本公演で実演参加する児童・生徒の学年・全校児童・生徒で鑑賞する場合 寄席についていろいろなお話をします。そして、自分たちの寄席の名前を考えてみましょう。 ●一番太鼓のデモンストレーションの上、実演参加者に舞台の上で公開授業を行います。 一番太鼓の役割や音色に注目して、本物の太鼓を叩いてみましょう。 ●南京玉すだれのデモンストレーションの上、実演参加者に舞台の上で公開授業を行います。 玉すだれの基本的な使い方を学んだ上で、様々なものに見立てて表現してみましょう。 ●お茶子さんのデモンストレーションの上、実演参加者に舞台の上で公開授業を行います。 お茶子さんは寄席の進行を務める大切な仕事です。舞台の上でのしきたりを学んで実演体験します。 ●大喜利～アイウエオ作文～を公開授業形式で、考えてみましょう。 学校や地域に因んだ5文字の言葉を使って作文を作りましょう。オチのある作文。整った作文など、自由な発送で繰り広げられる言葉遊びが楽しいです。二つのチームが同じ5文字を使ってバトルするのも楽しいです。</p>		
<p>ワークショップのねらい</p>	<p>古典芸能を伝承する者たちの修行風景に触れることで、近世から現代に至るまで受け継がれてきた寄席の奥の深さや普遍的な面白さに触れる事が出来ます。また 児童 生徒自身が、実演し、体験し、参加することで、寄席に対する理解が深まり、本公演への理解と興味付けが出来ます。</p> <p>◆大喜利 アイウエオ作文 古典の様式を使って『創作の楽しさを体験する』『コミュニケーションと連携の大切さ』を体験。 ◆大喜利 アイウエオ作文 古典の様式を使って『創作の楽しさを体験する』『コミュニケーションと連携の大切さ』を体験。 ◆創作玉すだれ 古典的な道具を使って『創作の楽しさを体験する』『コミュニケーションと連携の大切さ』を体験。 ◆お茶子さん体験 伝統的なしきたりや作法に触れ『伝承者としての役割を担う』『コミュニケーションと連携の大切さ』体験。 ◆一番太鼓体験 伝統的なしきたりや作法に触れ『伝承者としての役割を担う』『コミュニケーションと連携の大切さ』体験。 ワークショップで事前指導を受けた子供たちに、伝承者としての自信と誇りを持って頂き、日本文化へ興味を持ち続けて頂くことを意図しています。</p>		
<p>その他ワークショップに関する特記事項等</p>	<p>① 2部制に分けた場合の使用法</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>前半</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>後半は4つの役割に分けて活動</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">②皆で楽しむワークショップ鑑賞会も可能です。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">ワークショップ指導風景</div> </div>		

C区分で事業を実施するに当たっての工夫

【公演団体名

ポケット寄席

】

i) 離島・へき地等における公演実績

2007年 12月 福島県 飯館村立 飯館 中学校
 2010年 12月 福島県 田村市立 牧野 小学校
 2015年 10月 奈良県 黒滝村立 黒滝 小学校
 2015年 6月 高知県 日高村立 加茂 中学校
 2019年 11月 福島県 玉川村立 泉 中学校

離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫をする。

◆ 出演者及びスタッフを少人数にして小回りをきくようにするが、大人数と変わらない内容に保つ工夫を最大限にします。

申請における、小規模な公演の観点から実施する経費削減等についての工夫は出演者を通常の人数を出演者6名＋スタッフ4名を⇒C区分 出演者4名＋スタッフ2名にします。内容やクオリティが変わらない様、出演者とその組み合わせに工夫します。

◆ 午前 ワークショップ 午後 本公演 1日6時間以内の滞在で公演を行います。

A区分では本公演とワークショップ公演の日程を分けていますが、C区分の場合は、午前中にワークショップを行い、共演者へ指導を行った上で午後の本公演に挑みます。出演者全員で①一番太鼓③南玉すだれ ④アイウエオ作文 ④お茶子さん を分担し指導いたします。公演のクオリティーを保持の為に【文化庁】『文化芸術による子供育成推進』経験者及び同等の公演を出演させます。

◆ 舞台道具を簡易にし、小回りを良くする為に、自社持ち込み機材に工夫を盛り込みました。

舞台道具を通常より簡易にし、見台、膝隠し緋毛氈、座布団、めくり台、弊社オリジナル舞台風景、等 弊社が独自に制作した寄席セットをコンパクトにし輸送いたします。

高座台載マイクスピーカー等の音響設備も学校備品が使用出来る場合のみに限りご了承頂いた上で借用いたします。

◆ 車を使用した方が安価に収まる場合は、車1台に出演者と荷物を同乗させコンパクトに移動いたします。機材輸送手段としても安全です。

離島・僻地の場合、先ず、寄席セットをコンパクトにしスタート地点へ輸送した上で、地域内の学校へは1台の車輛で移動いたします。

※ 『教育委員会』『文化庁』の巡回公演を数多く経験し生かした弊社ならではの創意工夫とノウハウで提案いたします。

C区分で事業を
実施するに当たっての工夫

リンク先	No.2	【公演団体名	ポケット寄席	】
<p>出演者</p>	<p>出演者プロフィール</p> <p>【笑福亭 生喬】 =落 語= 三重県出身の落語家。学生時代を大阪で過ごし、念願かない平成3年 六代目笑福亭 松喬に入門する。勉強熱心で、師匠譲りの正攻法で、味わいのある古典落語を得意とする。「石切亭ごくらくごの会」「出撃！ラクゴリラ」など、ユニークなネーミングで数多くの落語会を主催。上方落語らしい匂いを持つ落語家である。</p> <p>【笑福亭 智 丸】 =落 語・南京玉すだれ= 平成25年 笑福亭 仁智に入門。文学をこよなく愛し、学生時代 詩集を上梓。中原中也賞、萩原朔太郎賞候補になるなど異色の経歴を持つ落語家で落語にも生かされる深い洞察力の持ち主である。</p> <p>【ビックリ ツカサ】 =マジック= 漫才師としてコンビを組むかたわら、マジシャンとして修行を積む。コンビ解散後 マジックに転向し、楽しくおしゃべりの「お笑いマジシャン」として様々な寄席やイベント、ライブなど中心に活動中。</p> <p>【上方お囃子連】 若手落語家の稽古の一つとして、師匠方の出囃子を打ち、上方落語特有のはめもの〔効果音〕を打つ事は、落語への造詣を深める最も大切な修行です。普段、目にする事の無い寄席囃子の囃し方の奮闘振りを御覧下さい。</p> 	<p>寄席囃子教室</p>		
	 <p>南京玉すだれ</p>			